

地元中小企業の実践例に学ぶ「無理のない」脱炭素セミナー

エコアクション21の活動について

株式会社あおやま 代表取締役 青山雄治

2026年 2月20日 豊橋市役所

株式会社あおやま (Aoyama Co.Ltd.)

所在地 : 愛知県豊橋市大村町字五貫森53

設立 : 1986年

従業員数 : 約20名

マシニングセンタなどによる金属切削加工による切削工具の製造

- ・ 大手切削工具メーカーへのOEM製造
- ・ 部品加工メーカーなどへの特殊工具製造
- ・ 自社ブランドカラフルバイトホルダ



MAGICIAN OF THE LATHE

COLORFUL

カラフルバイトホルダ、
新登場！

今までなかったカラフルなバイトホルダ
工具もおしゃれに色分けて、作業効率アップにも効果的！
防錆効果も抜群で性能とデザイン性を両立



事業所規模

事務所勤務：7名
工場勤務：15名

マシニングセンタ：12台
NC旋盤：1台
複合旋盤：1台
細穴放電：1台
ワイヤ放電：2台
平面研磨：2台
汎用加工機：11台

敷地面積：約450坪
(1486.73平方メートル)



エコアクション21の取得に取り組んだきっかけ



2008年、主要取引先より
グリーンサプライヤー制度実施の通達



サプライヤー認定要件として
環境の第三者認証取得を推奨条件



第三者認証として
エコアクション21を紹介



今後はグリーンサプライヤーを
中心に調達したい方針

2008年前後は「環境問題」が 製造業の経営課題に格上げされた

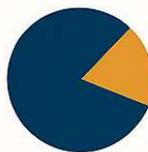
背景

- ・ 国際的な温暖化対策の加速
(洞爺湖サミットなど)
- ・ 京都議定書
約束期間開始



地球温暖化の危機

資源浪費の
危機



CSR・環境
マネジメント
の普及



大手企業の
グリーン調達化



製造業は「環境対応なしでは取引や競争に勝てない」時代に移行した。

国際動向

G8洞爺湖サミット、
パリ行動計画、
京都議定書の約束期間開
始

国内政策

環境行動計画2008、
3つの環境危機
(温暖化・資源浪費・生
態系)

企業の動き

CSR・環境マネジメント
(ISO14001EA21) 普及、
環境報告書作成

サプライ チェーン

グリーン調達の本格化、
中小企業への環境要求拡
大

製造業の 行動

ISO14001取得、
ゼロエミッション、
有害化学物質削減

エコアクション21の歴史



1996

環境活動評価
プログラムを
策定
(エコアクション
21の原型)



1999

名称を
「エコアク
ション21」に
変更



2004

認証・登録制度
が正式にスタート



現在

約7,000社が認証
中小企業を中心に
普及

1996年

「環境活動評価プログラム」を
環境庁が策定
(エコアクション21の原型)

1999年

名称が「エコアクション21」
に改定され、自主的届出制度が
導入

2004年

認証・登録制度が正式スタート事業
者の取組を第三者が評価する仕組み
が始まる

現在

約7,000社が認証取得し、
中小企業を中心に全国へ普及

エコアクション21とISO14001 違い

国内独自の環境マネジメント制度



エコアクション21

- ・日本の環境省が策定
- ・中小企業でも取り組みやすい
- ・伴走型審査
- ・100名以上で内部監査が必要
- ・2年ごとに更新

国際標準化機構(ISO)が策定した国際規格



ISO14001

- ・国際標準化機構が策定
- ・大企業向け
- ・要求が抽象的で専門性が高い
- ・内部監査は必須
- ・3年ごとに更新

エコアクション21とISO14000の審査方法の違い

項目	エコアクション21	ISO14001
審査の進め方	書類審査→現地審査の2段階方式	現地審査が中心（書類審査は原則なし）
審査員の立場	助言・指導が可能	助言は禁止、評価のみ
審査サイクル	1年後中間審査、2年更新	毎年審査、3年更新
内部監査	100名以上で必須（小規模は推奨）	規模に関係なく必須
審査範囲	組織全体で取得	範囲を限定して取得可能
コスト	低コスト（数十万円程度）	高コスト（100万円超も多い）

エコアクション21の活動の流れ

フェーズ	内容	ポイント
① 現状把握	事業活動による環境負荷を把握	電気・燃料使用量／CO ₂ 排出量／廃棄物・水使用量
② 方針・目標設定	環境経営方針と数値目標を設定	代表者が方針表明／脱炭素目標を設定
③ 環境活動の実施	日常業務の中で環境活動を実行	省エネ・節電／廃棄物削減／環境配慮行動
④ 評価・改善	実績を確認し評価・見直し	目標と実績を比較／次年度へ改善
⑤ レポート作成	環境経営レポートを作成	1年間の取組と成果を整理



1年に一度、環境レポートなどの必要書類を審査員に提出し、活動の取組と成果を審査してもらう

※認証登録は2年に一度だが、審査は毎年行う



方針・目標を設定し、環境活動を実施し、一年間の取組と成果を環境レポートにまとめる

環境活動の実施とレポート作成

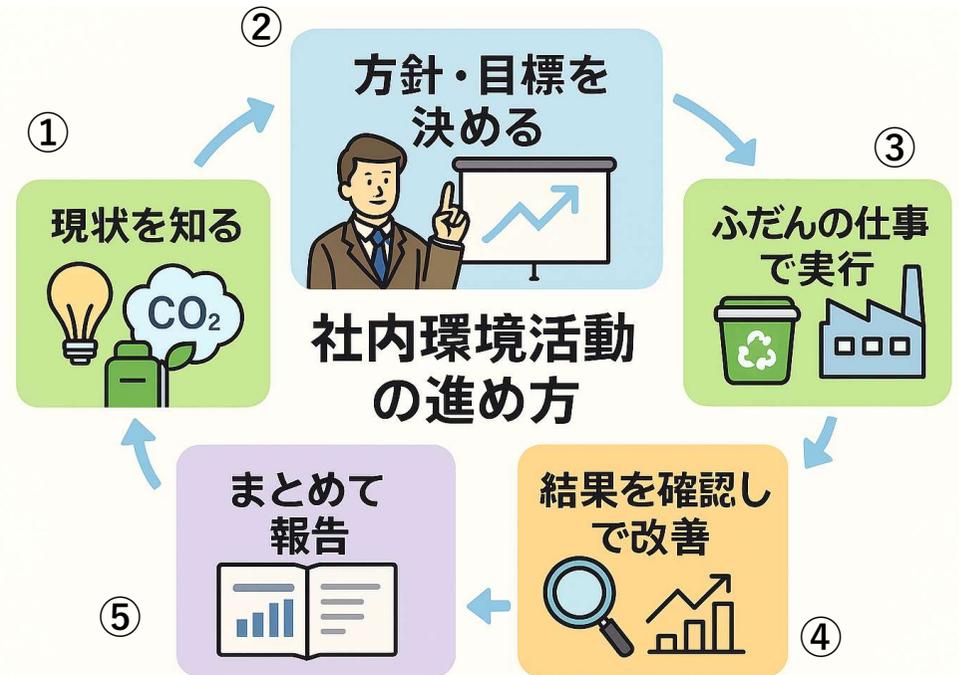
フェーズ	内容	ポイント
① 現状把握	事業活動による環境負荷を把握	電気・燃料使用量 /CO ₂ 排出量/廃棄物・水使用量
② 方針・目標設定	環境経営方針と数値目標を設定	代表者が方針表明 /脱炭素目標を設定
③ 環境活動の実施	日常業務の中で環境活動を実行	省エネ・節電/廃棄物削減/環境配慮行動
④ 評価・改善	実績を確認し評価・見直し	目標と実績を比較 /次年度へ改善
⑤ レポート作成	環境経営レポートを作成	1年間の取組と成果を整理

ガイドライン2017年版
(解釈含む)

別表 環境への負荷の
自己チェック表
ver.1.1

別表 環境への取組の
自己チェック表
ver.1.1

エコアクション21のガイドラインと自己チェック表は
エコアクション事務局のホームページから入手できます



フェーズ① 現状把握

1. 環境データ（CO₂・廃棄物・水・化学物質）の把握
2. データを自己チェック表に整理して評価
3. 環境取組の現状（省エネ・3R・環境配慮）を自己チェック表で評価関連する
4. 環境法令の整理・一覧化



環境データの把握



データを整理して評価



取組状況の評価



環境法令の整理



別表 環境への負荷の
自己チェック表 
ver.1.1

別表 環境への負荷の自己チェック表

<自己チェック表の構成等>

- 事業活動に伴う環境負荷について、本チェック表（Excelファイル）を基に把握してください。
- 環境負荷のうち、二酸化炭素排出量（エネルギー使用量）、一般廃棄物排出量等、産業廃棄物排出量等、水使用量、化学物質使用量は必ず把握してください。また、エネルギー使用量料金、廃棄物処理費用等についても入力し、どの程度のコストがかかっているかを把握してください。
- 本チェック表は、以下の10シートから構成されています。「入力の手順等」を参考に、必要な数値、項目名、単位等を入力してください。
 - ・ 自己チェック表の構成・入力の手順等（本シート）
 - ・ 1. 事業規模（事業の規模）
 - ・ 2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）：二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量等を一表に取りまとめる表
 - ・ 3. エネルギー使用量
 - ・ 4. 一般廃棄物排出量等
 - ・ 5. 産業廃棄物排出量等
 - ・ 6. 水使用量及び総排水量
 - ・ 7. 化学物質使用量
 - ・ 8. 資源使用量
 - ・ 9. 総製品生産量または販売量

<入力の手順等>

① 環境負荷を把握する期間（年は西暦）を入力してください。1年間の環境負荷データを入力できます。入力した期間は、2～7の各シートの青色のセルに自動で入力されます。

開始年月： 年 月

終了年月： 年 月

※原則として1年間の環境負荷データを入力しますが、1年未満の期間で入力することもできます。

フェーズ② 方針・目標設定

株式会社あおやま環境経営方針(要約)

株式会社あおやまは、顧客の信頼されるパートナーとして価値ある製品を提供し続けるため、事業活動に伴うCO₂排出量・廃棄物・水使用量の削減および有害化学物質の不使用に積極的に取り組み、環境負荷の低減と継続的な環境改善を推進します。

＜環境方針＞
は図のような
事柄を制定



環境負荷の低減に向けた継続的な改善

2024(R8)年度 環境経営目標

※単年度目標は前年度実績比▲1%を基本とする

項目	2024年度 目標
CO ₂ 総排出量	10,297.08 kg-CO ₂ 以下
電力由来CO ₂ 排出量	0 (グリーン電力継続)
化石燃料由来CO ₂ 排出量	49.27 kg-CO ₂ /百万円 以下
廃棄物総排出量	16.22kg/百万円 以下
一般廃棄物	2.39 kg/百万円 以下
産業廃棄物	13.83 kg/百万円 以下
水使用量	3.64 m ³ /百万円 以下
有害化学物質	不使用を継続
グリーン購入	3件以上
環境配慮型製品	2品番以上
再生・再使用の取組	2件以上
工場周辺の美化活動	年2回以上
客先クレーム・工程内不良	5件以下

フェーズ③ 環境活動の実施（実際の実施内容）

改善取組事項	具体的取組内容	担当部門	実施時期
二酸化炭素排出量の削減	不使用照明・機械・PCの消灯／コンプレッサーのエア漏れ点検	全部門	常時
化石燃料由来CO ₂ 削減	急発進防止・アイドリングストップ／タイヤ空気圧点検	全部門	常時
廃棄物総排出量削減	分別の徹底／端材が出にくい材料調達／端材再利用／不良品減少による再製作の減少	全部門・製造部門	常時
水使用量削減	節水の励行／使用量の定期確認	全部門	隔月
有害化学物質不使用	新規導入時の安全性確認／不使用の徹底	全部門	通年
グリーン購入推進	再生紙・再生材料の購入	全部門	常時
環境配慮型製品	設計段階で端材が出にくい設計	全部門	常時
再生・再使用率向上	ウエスの再利用／裏紙使用	全部門	常時
工場周辺美化	工場外周の草取り	全部門	4月・9月
クレーム・不良削減	作業指示の徹底／うっかりミス防止	全部門	常時

フェーズ③ 環境活動の実施（実際の取組の記録）

EA21 環境負荷集計表		2026年2月12日 p 1/3 株式会社あおやま																								
項目	単位	担当者	2024																							
			4月	5月	6月	7月	8月	9月																		
1、インプット																										
1) 総エネルギー投入量																										
購入電力	Kwh				26,505	21,019		24,456	24,573		32,521	29,012														
LPG	kg				72,450	84,870		77,211	74,520		62,928	72,450														
灯油	L																									
ガソリン	L				270.50	244.00		316.51	210.00		110.50	210.52														
2) 総物質投入量																										
紙(コピー紙)	kg				40.0	40.0		52.0	40.0		60.0	0.0														
プラスチック	kg																									
金属(鉄、アルミ)	kg				922.10	632.63		965.10	1,494.55		429.52	865.74														
3) 水資源投入量																										
上水	m ³				104.0			105.0			91.0															
工業用水	m ³																									
2、アウトプット																										
1) 温室効果ガス排出量																										
二酸化炭素	kg-CO2																									
2) 廃棄物等総排出量																										
紙類	kg		再使用	再生利用	単純焼却	最終処分	再使用	再生利用	単純焼却	最終処分	再使用	再生利用	単純焼却	最終処分	再使用	再生利用	単純焼却	最終処分	再使用	再生利用	単純焼却	最終処分	再使用	再生利用	単純焼却	最終処分
ー 白上質紙	kg		1.0		6.2		1.5		9.5		1.0		6.5		1.5		8.0		1.0		6.5		1.0		7.0	
新聞紙	kg																									
ダンボール	kg			8.5				8.0				5.0				5.5								8.0		
その他	kg																									
一般	kg																									
ー カン	kg																									
ー ピン	kg															2.5								6.0		
ー ペットボトル	kg			0.7				0.5							0.3					0.5						
ー 紙バック	kg																									
ー 発泡スチロール	kg																									
ー プラスチックごみ	kg																									
ー 厨芥ごみ	kg				1.8			1.4					1.6				1.8						1.4			1.6

フェーズ④ 評価・改善

評価 (Check)

立てた目標 (CO₂、廃棄物、水など) に対し実績はどうだったかを確認未達・問題点があればなぜ達成できなかったかを整理

改善 (Act)

原因を踏まえて次年度の目標・取組内容を見直す代表者が最終確認し、次の方針・指示を出す



フェーズ⑤ レポート作成

1. 環境経営レポートの作成

1年間の取組内容とその成果を環境経営レポートとして文書化します。

2. レポートにまとめる主な内容

環境経営レポートには、少なくとも次の内容を整理して記載します。

- ・ 環境経営方針
- ・ 設定した環境目標（CO₂、廃棄物、水使用量など）
- ・ フェーズ③で実施した環境活動の内容
- ・ フェーズ④での評価結果（目標に対する実績）
- ・ 達成できた点・未達の点とその理由
- ・ 次年度に向けた改善の方向性



エコアクション21の審査

審査の頻度・サイクル

- ・ 審査：毎年1回実施認証
- ・ 登録：2年に1回更新

毎年、環境経営レポートなどの必要書類を提出し、取組内容と成果について審査を受けます。

審査の進め方

エコアクション21の審査は、次の特徴があります。

- ・ 書類審査 → 現地審査 の2段階方式
- ・ 審査員は 助言・指導が可能
- ・ 組織全体を対象に審査

単なる合否判定ではなく、「中小企業でも継続しやすい仕組み」として伴走型で行われます。

審査で確認される主な内容

審査では、主に以下の点が確認されます。

- ・ 環境経営方針が定められているか
- ・ 環境目標（CO₂、廃棄物、水など）が設定されているか
- ・ 日常業務の中で環境活動が実施されているか
- ・ 目標に対する実績の評価と改善が行われているか
- ・ 環境経営レポートとして整理・記録されているか

これらは、レポート内容と実態の両面から確認されます。

審査後の位置づけ

審査結果は、

- ・ 代表者による最終確認
- ・ 次年度の目標や取組内容の見直し

に活用され、継続的な環境改善につながられます。

エコアクション21の審査の流れ

エコアクション21 事務局

エコアクション21の認証・登録制度を運営する中核機関です。環境省が策定したガイドラインに基づき、制度全体が公正・適切に運用されるよう統括しています。

- ・ 事業者の窓口： **地域事務局**
- ・ 認証登録の最終判断： **中央事務局**

エコアクション21 審査員

エコアクション21に取り組む事業者の活動内容を確認し、評価と助言を行う第三者です。環境省が策定したガイドラインへの適合状況と、環境経営の有効性を審査します。



エコアクション21の審査費用

審査費用

審査費用は、下記の標準審査工数表を基に決めさせていただきます。

現地審査（事業所における審査）の場合、**別途交通費等**が必要となります。**審査人の1人日当たりの費用は、50,000円/人日（消費税除く）**です。

従業員数 (構成員数)	登録審査		初回の中間審査 (認証・登録後概ね1年後)		更新審査 (認証・登録後2年以内)		2回目以降の 中間審査 (更新審査の 概ね1年後)
	標準 審査工数	うち 現地審査	標準 審査工数	うち 現地審査	標準 審査工数	うち 現地審査	標準 審査工数
30人以下	2人日	1人日	2人日	1人日	2人日	1人日	1人日
31人以上 60人以下	2.5人日	1.5人日	2人日	1人日	2人日	1人日	1人日
61人以上 100人以下	3人日	2人日	2.5人日	1.5人日	2.5人日	1.5人日	1.5人日
101人以上 500人以下	3.5人以上	2.5人以上	3人以上	2人以上	3人以上	2人以上	2人以上
501人以上	4人以上	3人以上	3.5人以上	2.5人以上	3.5人以上	2.5人以上	2.5人以上

製造業、建設業、修理工場、廃棄物・再生資源の収集運搬・中間処理・処分業等、環境負荷が比較的大きいと考えられる事業所における標準審査工数表

審査費用の詳細は
エコアクション21事務局
のホームページ審査費用
に掲載
<https://www.ea21.jp/starter/cost/>



エコアクション21の登録費用

審査の結果、判定委員会においてガイドラインに適合していると認められた事業者は、事務局との認証・登録の契約締結の際に、2年分の認証・登録料をお支払ください。さらに、2年毎の更新審査の際に、2年分の更新登録料が必要となります。

認証・登録料、更新登録料(2年分)

従業員数	料金
10人以下	50,000円 + 消費税
11人以上300人以下	100,000円 + 消費税
301人以上500人以下	150,000円 + 消費税
501人以上1,000人以下	200,000円 + 消費税
1,001人以上	300,000円 + 消費税

審査の価格とスケジュール

2024年の審査・登録で弊社で実際にかかった費用

費目名	工数	単価(税込み)	金額(税込み)
審査費用	2人日	55,000円	110,000円
交通費	1往復	280円	280円
認証・登録料		110,000円	110,000円
合計			220,280円

過去15年で予算を組んで行った環境対策

- ・照明のLED化
- ・電気自動車の導入
- ・省電力型のコンプレッサーへのリプレイス
- ・Green電力の導入
- ・V2H設備の導入

エコアクション21 現地審査スケジュール			
時間 注1		件名	株式会社あおやま
		審査内容: 審査対象部門: 主な面接者等	
開始	終了	審査員氏名	本社・工場
9:00	9:10	《事前打合せ》 ・審査員の自己紹介、審査日程の確認、視察ルートの協議及び依頼事項等の打合せ等 ・環境管理の責任者及び事務局	
9:10	9:30	《審査開始会議》 ・審査目的、審査方法、審査スケジュール、審査の依頼事項等のご説明 ・代表者、環境管理の責任者及び事務局、各部門の責任者等	
9:30	10:15	《代表者インタビュー》 ・事業全般、課題とチャンス、環境経営方針、環境経営目標、実施体制、全体の評価と見直し、環境経営レポート等のインタビュー ・代表者: 社長 (環境管理の責任者等も同席可)	
10:15	11:15	《事業所内の視察》 ・施設管理に関する視察・概要ヒアリング ・ユーティリティ施設、環境保全施設・設備、各部署事務所及び施設、最終排水口等の見学	
11:15	12:00	《環境経営システムの構築・運用状況の審査》 ・前回審査指摘確認、書類審査対応、環境への負荷と環境への取組状況、環境関連法規の遵守状況、環境経営目標の計画・実施・確認評価など要求事項全般に対するヒアリング ・環境管理の責任者及び事務局	
12:00	13:00	昼食・審査結果のまとめ	
13:00	15:30	《環境経営システムの構築・運用状況の審査》 ・午前の続き ・環境管理の責任者、事務局、部門の責任者、及び担当者	
15:30	16:30	《審査結果の取りまとめ》 ・当日の審査結果の整理及びまとめ(審査員のみで行います)	
16:30	17:00	《審査終了会議》 ・審査結果の説明・総括及び是正対応 ・代表者、環境管理の責任者及び担当者、部門の責任者	
備考	注1: 開始・終了の時間: 概略の目安です。移動を含んだ時間です。 注2: 環境管理の責任者: 環境経営システム関連文書・記録・帳票類、環境関連法規制・条例の許認可・届出書類及び自治体等との環境関連協定書等を準備下さい。 注3: 各部門: 関連文書・記録・帳票類をご準備下さい。		

エコアクション21取得効果

- コストや作業負荷の面で無理することなく環境活動を行うことができた
- 取引先との関係強固
取引部門から調達部門へのアピール要素となった
- 社外発信へのアピールポイントとして使える
- 産業廃棄方法などわからなかったことが手順化できた
- 大手企業と対等に話ができるようになった

エコアクション21についての問い合わせ先

エコアクション21地域事務局 静岡県環境資源協会
【一般社団法人 静岡県環境資源協会】

〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町44-1
TEL：054-252-9023 メール：ea21@siz-kankyuu.or.jp



エコアクション21公式サイト

<https://www.ea21.jp/>



<p>認証・登録までの流れ</p>  <p>エコアクション21にどのように取り組むかをご説明します。また、エコアクション21審査員や地域事務局、中央事務局の役割についてもご紹介します。審査申込書はこちら。</p> <p>→ 認証・登録までの流れ</p>	<p>認証・登録事業者の環境経営レポートを見る</p>  <p>全認証・登録事業者の最新の環境経営レポートをご覧になれます。</p> <p>→ 環境経営レポートを見る</p>	<p>コンサルティング</p>  <p>ご希望があれば、地域事務局が紹介・斡旋しますので、お近くの地域事務局へご連絡ください。</p> <p>→ 支援サービス</p>
--	---	---

脱炭素は「特別なこと」ではありません

大きな投資や高度な専門知識がなくても日々の業務の中で、無理なく・継続的に取り組むことができます。

その実践の仕組みとして**エコアクション21**は中小企業にとって現実的な選択肢であると思います。

エコアクション21は「取得すること」ではなく「続けること」に価値がある制度です。

毎年の振り返りと改善を通じて、**環境への配慮が企業活動の当たり前として定着**していきます。



ご清聴ありがとうございました